

平成17年度病害虫発生予報第2号

平成17年 4月28日
発表：福島県病害虫防除所

作物名	病害虫名	地方	予想発生時期	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
水 稲	葉いもち	全域	-	並	1か月天候予報によると、気温は平年並か低いと予想されている(±)	被害稻わらやもみ殻などは葉いもちの伝染源となるので、周辺への放置を避ける。
	苗立枯病	全域	-	やや多	1 適正な温度管理と薬剤防除が行き届かなくなっている(+)。 2 天候予報によると、気温は平年並か低いと予想されている(+)。	1 育苗期間中の極端な温度変化は発生を助長するので、緑化期以降は、昼間28以上、夜間10以下にならないよう気温の変動に応じて適切な温度管理を行う。 2 無加温育苗等で、保温資材による被覆が長時間にわたると高温・過湿になりやすく、発生を助長するので注意する。
	もみ枯細菌病、苗立枯細菌病	全域	-	やや多	適正な温度管理と薬剤防除が行き届かなくなっている(+)。	1 緑化期以降の高温・過湿は、二次感染を助長するので避ける。 2 発病が見られたら速やかに発病苗を隔離し、二次感染を防ぐ。
	イネヒメハモグリバエ	全域	-	並	1 天候予報によると、気温は平年並か低いと予想されている(±)。 2 4月下旬に実施した調査では、水田周辺のイネ科雑草における産卵葉率は過去4年に比べやや低かった(±)。	1 苗が軟弱徒長の場合、育苗箱施薬を行うと薬害が出やすいので使用せず、本田期防除で対応する。 2 徒長苗の移植や深水管理は発生を助長するので、そのような水田では特に発生に注意する。
	イネミズゾウムシ	全域	並	やや少	1 近年、育苗箱施薬が増加している(-)。 2 積算気温から予測されるイネミズゾウムシの水田侵入盛期は平年並と予測される。	例年発生が多いところでは育苗箱施薬を行う。ただし、苗が軟弱徒長の場合は薬害が出やすいので使用せず、本田期防除で対応する。
麦 類	赤かび病	全域	並	並	1 天候予報によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並と予想されている(±)。 2 出穂期が平年並みと予想される。	必ず薬剤防除を実施する。
リンゴ	腐らん病	県北 県南 会津	- - -	やや多 "多	1 県北・県南地方では、主に枝腐らん、会津地方では胴腐らんである。 2 積雪の多かった会津地方では、樹の折損が多い(+)。	薬剤散布のみでなく、耕種的防除も併せ防除する。
	アフラムシ類 (花叢寄生)	県北 県南 会津	- - -	やや少 平年並 やや多	1 会津地方の発生量は平年より多い。 2 向こう1か月の気温は、平年並か低い予想である(-)。	薬剤を散布する場合、訪花昆虫に注意する。
モモ	せん孔細菌病	県北	-	やや多	昨年、9月に通過した台風後、発病が急増した(+)。	春型枝病斑は伝染源となるので見つけしだいせん除する。

ナシ	黒星病	県北 県南 浜通	- - -	少 並 やや多	向こう1か月の気温は、平年並か低く、降水量は平年並の予想である(±)。	開花期前後の防除間隔が間かないよう注意する。
果樹共通	ハマキシ類	県北 県南 会津	平年並 " "	やや少 やや少 少	1 リンゴでは、県北、県南地方で平年並の発生量であった。 2 ナシでは発生が見られなかった。	防除適期を逃さないよう注意する。
	リンゴハダニ	県北 県南 会津 浜通	- - - -	やや少 やや少 やや少 少	リンゴハダニの越冬卵量は平年より少なかった。	
	ナミハダニ	県北 県南 会津 浜通	- - - -	やや少 少 並 少	ナミハダニの下草寄生量は平年よりやや少ない。	
冬春キュウリ	うどんこ病		-	並	発病葉率及び発生ほ場率は例年並であった(±)。	1 多発後の防除は困難なので、発生初期より防除を行う。 2 発病葉については、出来るだけ摘葉してから、薬剤散布を行う。 3 薬剤散布にあたっては、同一系統薬剤を連用しない。
	褐斑病		-	やや多	例年より発生が見られない3月の巡回調査から確認され、4月にはほ場数が増加した(+)。	
	ハダニ類		-	並	寄生葉率及び発生ほ場率は、例年並であった(±)。	
イチゴ	うどんこ病	県北 県南 浜	- - -	やや多 並 並	発病葉率は例年並であったが(±)。県北で発病果率のやや高いほ場が散見された(+)。	1 多発後の防除は困難なので、発生初期より防除を行う。 2 薬剤散布にあたっては、同一系統薬剤を連用しない。
	ハダニ類	県北 県南 浜	- - -	並 やや多 やや多	県南及び浜通りでは、発生ほ場率がやや高く(+)。県北ではやや低かったが(-)。寄生程度の高いほ場が散見された(+)。	
	コナジラミ類		-	並	発病葉率及び発生ほ場率は例年並に高かった(±)。	
	アザミウマ類		-	並	寄生花率及び発生ほ場率は例年並であったが(±)。一部果実被害の発生も散見された。	
	アブラムシ類	県北 県南 浜	- - -	並 やや多 並	県南では、例年と比較して発生ほ場率がやや高かった(+)。	

注) 予報の根拠の中で(+)は多発要因、(-)は少発要因、(±)は平年並要因であることを示す。

より詳しい発生状況や防除対策は、福島県病害虫防除所ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>をご覧ください。

お問い合わせはTEL024-938-4242、FAX024-923-2012またはe-mail:yosatsu@pref.fukushima.jpへお願いします。